

令和元年度 新潟県立大学 特別受講生（後期）募集要項

新潟県立大学では、県民のみなさんの生涯学習意欲の高まりにこたえとともに、地域に開かれた大学となることをめざし、特別受講生制度を実施しております。

これは、授業科目の一部を県民のみなさんに開放し、学生とともに学んでいただく制度です。

また、この公開科目は、新潟県教育委員会が主催する「いきいき県民カレッジ」（本部：生涯学習推進センター）の講座として参加していますので、受講修了者にはいきいき県民カレッジの単位が認定されます。

※本学の単位は認定されません。

1. 受講資格	平成31年4月1日現在、満18歳以上で、半年間継続して積極的に学習する意欲のある方。学歴不問。
2. 募集科目及び定員	次頁「公開科目一覧表」参照 なお、申込が定員を超過した場合は、受講をお断りすることがあります。 履修登録学生がいない等の理由により、開講されない場合があります。
3. 申込科目数	1人3科目以内とします。 (前期3科目、後期3科目の年間最大6科目まで申込ができます。)
4. 受講料	雑費として、1科目につき1,000円を徴収します。(料金は受講決定後に納入してください。) なお、科目により教材等を購入していただく場合があります。
5. 募集期間	令和元年7月12日(金)～8月5日(月) (8月5日(月)消印有効)
6. 申込方法	以下の書類を持参または郵送(簡易書留)により、申込先に提出してください。 (1) 受講申込書(別紙1)を1受講科目毎に1枚 (2) <u>140円切手</u> を貼付した返信用封筒(角2号(240×332mm))を1通 *宛名にご自分の住所、氏名等を記入してください。 *複数科目お申込みの場合でも返信用封筒は1通のみです。 持参の場合：事務局②窓口 8時30分～17時15分(土日・祝日除く)
7. 申込先	新潟県立大学 教務学生課 特別受講生担当 〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471番地 TEL：025(270)1302(直通) FAX：025(270)5173
8. 受講者の決定	受講の可否は、9月下旬に志願者あて文書で通知します。 受講許可を受けた人には必要書類を送付しますので、それに基づき手続きを行ってください。
9. 修了証書の授与	修了にあたっては、2/3以上の出席が必要となります。受講修了者には、修了証書を授与(郵送)します。ただし、本学の単位取得はできません。 なお、担当教員の判断により課題等の提出を課せられることがあります。
10. いきいき県民カレッジの単位認定	受講が許可された方は、「いきいき県民カレッジ」に入学となります。 なお、受講手帳が必要な人は、受講申込書の「いきいき県民カレッジ単位認定」欄の「手帳希望」に○印を付けてください。
11. 通学方法	公共交通機関を利用してください。駐車場に余裕がありませんので、原則として自家用車による通学は認めておりません。 ※障害者手帳の交付を受けている等の特別な事情がある場合は、事前にご相談ください。

No	科目名	教員名	講義形式	曜日	時限	募集人数
1	異文化コミュニケーション論	宮崎 七湖 他	講義	月	2	5
2	基礎韓国語IV	山田佳子・外国人語学講師	演習	月2・木2		若干名
3	中国語IIB(読解初級)	後藤 岩奈	演習	月3・金3		5
4	比較文化論	木佐木 哲朗	講義	火	2	5
5	ロシア言語文化論B(文学)	水上則子・外国人語学講師	講義	火	2	若干名
6	基礎韓国語II	金 世朗・櫻澤 亜伊	演習	火3・金2		若干名
7	日本文化概論	板垣 俊一	講義	火	3	5~10
8	現代ユーラシア研究	袴田 茂樹	講義	水	3	10
9	Lecture II	Adamson, John Lindsay	演習	水	3	10
10	ロシア言語文化演習C(読解・多読)	水上 則子	演習	木	2	若干名
11	現代韓国社会論	権 寧俊	講義	木	3	5
12	日本語概論	福嶋 秩子	講義	木	3	5
13	アジア経済開発論	李 佳	講義	木	4	5
14	国際地域学C(地域政策)	山中 知彦	講義	金	3	10
15	環境と健康	西川 眞	講義	金	3	10
16	法学	堀江 薫	講義	金	4	5
17	現代中国の社会と文学	後藤 岩奈	講義	金	5	5

講義概要

注) テキスト、その他の教材等の指示がないものについては開講時に指示します。

後期

1. 異文化コミュニケーション論

担当教員 宮崎七湖 他

急速に進行するグローバル化社会において、国内外において異なる文化的背景をもつ人々が交流する機会が増加し、それと同時に様々な摩擦や誤解が生じるケースも無視できなくなっています。本講義では、言語教育、言語学を専門とする講師がオムニバス形式で講義し、異文化間のコミュニケーションにおいて生じる様々な問題やそれらの要因について、また、異文化コミュニケーションに求められるリテラシーについて、様々な面から学びます。

講義のテーマ(担当教員): 異文化間コミュニケーションを考えるための基本的知識(宮崎七湖)、学校教育と異文化コミュニケーション(茅野潤一郎)、ことばと文化の関わりからみた異文化コミュニケーション(柳町裕子)

2. 基礎韓国語Ⅳ

担当教員 山田佳子・外国人語学講師

日本語ネイティブ教員と韓国語ネイティブ教員が1コマずつ担当する週2コマの授業です。

「基礎韓国語Ⅲ」に引き続き、さらに多くの語彙と文型を学び、場面に応じた会話表現を身に付けます。受講者相互のやりとりを通じて学んだことを活かし、コミュニケーション能力を高めることが目標です。

テキスト: 李潤玉ほか(著)『改訂版・韓国語の世界へ 初中級編』(朝日出版社)

3. 中国語ⅡB(読解初級)

担当教員 後藤岩奈

「言葉」は、人の感情、人の考え、様々な情報を伝達する媒介であると思われます。より多くの語彙、表現、より詳細な文法事項を身につけると、より正確な、より詳細な伝達ができるようになります。この授業の目標としては、現代中国語の基本的な語彙、表現、文法を身につけ、基礎運用能力を養うことを目標とします。授業内容としては、中国語概説から始め、声調、単母音、二重母音、三重母音、子音の発音練習、それ以降は教科書に沿って進めます。随時、会話、作文、暗誦の練習をやります。授業では大きな声を出してもらいます。授業には必ず辞書を持参して下さい。教科書は王孝廉ほか編『中国語ベーシック』(中国書店)を使用します。

4. 比較文化論

担当教員 木佐木哲朗

文化人類学という入門講義に続くものであり、文化を比較しその意味を探る上で、その文化の担い手の生業つまり自然への人間の適応に注目します。その中で、採集狩猟民・牧畜民・農耕民の社会の実例を取り上げ、それぞれの技術や人間関係・社会構造の特性及び呪術・宗教や世界観など、多様な文化の共生を考えたいと思います。

テキストはとくに指定せず、適宜参考図書を紹介したりプリントを配布します。最後に、レポートの提出もお願いします。

5. ロシア言語文化論B(文学)

担当教員 水上則子・外国人語学講師

「ロシアの詩」をテーマとして、ロシア人教員によって、ロシア語のみで行われる講義である。中級～上級者を対象としており、本学においてロシア語科目を履修したことがない人については、必要に応じて語学力の審査を行う場合がある。

教材の購入は不要だが、履修に当たっては、露和中辞典(「研究社露和辞典」が望ましい)が必須である。

6. 基礎韓国語Ⅱ

担当教員 金世朗・櫻澤亜伊

「基礎韓国語Ⅱ」では、「基礎韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎を学びます。韓国語ネイティブ教員と日本語ネイティブ教員とが1コマずつ担当する週2コマの授業です。日常会話に必要な基本的な語彙や表現を身に付けます。授業では、教科書を用いますが、教科書以外にも韓国に関する映像や歌などを用い、生きた韓国語に接するとともに、韓国の文化や社会について親しみを持ってもらうことを目標とします。韓国語の文字(ハングル)と発音を習得している人が履修できますので、ご留意ください。

使用テキスト：山田佳子・金世朗著『韓国語の時間ですよ』(同学社)

7. 日本文化概論

担当教員 板垣俊一

日本文化について、次のような内容で講義します。1.日本の国家と民族 2.「文化」と「文明」 3.日本文化の基層 4.日本の心情 5.伝統芸能 6.茶の湯 7.音楽文化 8.信仰と宗教 9.自然観 10.美意識

テキスト：板垣俊一著『日本文化入門』2,400円程度の購入は必須です。市内書店等で各自お求め下さい。

8. 現代ユーラシア研究

担当教員 袴田茂樹

ソ連邦が崩壊したあと生まれた国々の政治、社会と文化について学ぶ。

とくに2018年、19年には、北朝鮮の核・ミサイル問題が世界を揺るがしているが、これも視野に入れる。ロシアによる「クリミア併合」とウクライナ問題が国際秩序の根底を揺るがしたので、「新しい地政学の時代」と言われる国際秩序の変化に注意を払いたい。また、北方領土問題を含む日露関係や「一带一路」「ユーラシア経済同盟」と中露関係も考察する。最近ではイスラム過激派をはじめ民族や宗教問題が地で大きな政治問題になっており、旧ソ連諸国における民族や宗教の問題の動向にも目を向ける。

特別受講生を歓迎します。社会経験の豊かな特別受講生と、若い学生の対話も重視したい。

9. Lecture II

担当教員 Adamson,John Lindsay

後期のLectureでも英語のアカデミック・リスニング能力をさらに発展させる。前期に引き続き、ノートテキングの練習などを行い、後期からより専門的な内容を含めたレクチャーを行う。また、授業でとりあつかった経済、環境、健康や文化に関するレポートの提出が求められる。

10. ロシア言語文化演習C(読解・多読)

担当教員 水上則子

比較的平易な文章を大量に読むことで語学力を身につけようとする授業である。具体的には、初級～中級程度の文章に対して、辞書を使わずにスムーズに読めるように手を加えた教材を使用する。「多読」であるため、15回の授業で20,000～30,000語を目安とするが、速度(語数)を競うことが主眼ではなく、自分に合ったペースで読み進めるものとする。中級の授業であり、初級文法と基本的な語彙を一通り修得していることが望ましい。なお、授業内では辞書は不要であり、教材の購入も不要である。

11. 現代韓国社会論

担当教員 権寧俊

講義では朝鮮半島の多様な姿を紹介することに力点を置き、歴史、政治、社会、文化などの諸側面から多面的に分析し、それらの諸側面の関連性やそこから生じる問題と課題について考察する。特に講義の主眼は「韓国社会の理解」であるが、解放後の歴史を中心とした日韓関係・日朝関係・南北問題・日韓文化交流などもとりあげ、朝鮮半島と日本との関係を考える場にした。それを通じて、「朝鮮半島の現在」を理解するとともに、「多文化共生社会」という今日の問題に取り組めるよう理解を深めたい。

12. 日本語概論

担当教員 福嶋秩子

母語である日本語を言語学の視点から見ることで、無意識に運用している日本語が本来もっている規則や体系について考える。また、日本語の時間的変化・空間的変異の検証や、他言語との比較・対照なども行う。場面別の言語、個人の言語、地域の言語、と様々なレベルの日本語を区別してその関

係性を考えたり、日本語を世界の言語の文脈におき、その社会的機能の将来を考えたりする。日本語を鑑賞の対象でなく科学的分析の対象と見ること、日本語教育や外国語学習・教育に役立つ知識が得られる。テキストを使用予定である。必要に応じて英語版資料も用いる。

13. アジア経済開発論

担当教員 李佳

20世紀末から世界経済はブロック化が進展し、北米経済ブロック、EU経済ブロック、アジア経済ブロック、中南米経済ブロックなどが形成されている。アジア経済ブロックの経済成長は世界の他のブロックの経済成長をはるかに凌駕している。特に、近年では先進国経済が低迷する中で、中国、インド、アセアン諸国をはじめとするアジア経済の成長力は世界から期待されている。また、2011年以来、東日本大震災、タイの洪水、中国の反日デモを通して、日本経済のアジア諸国経済との強い相互依存関係が実感された。本講義では、実質的な統合 (De facto integration) が進むアジア経済の実態に関する理解を深めるために、前半ではアジア地域の経済開発の全体像について講義するが、後半では国別の経済発展メカニズムやその動向に焦点をあてる。日本からの視点のみではなく、アジア各国からの視点でアジア経済の事象を理解することを心がける。なお、後半の国別の部分では受講者による発表やディスカッションを予定している。

14. 国際地域学 C(地域政策)

担当教員 山中知彦

地域を理解するための歴史、人口、産業、環境、福祉、交通、文化などの与件を踏まえ、人々が集まって活動し、国際社会の中でそれぞれの住まう地域をより豊かな場とするための様々な方法について、国内外の具体的な地域政策の事例に触れながら学び、問題発見・問題解決能力を高める。各回授業計画および教科書等は、本学ホームページ上のオンライン・シラバスを参照。

15. 環境と健康

担当教員 西川 眞

本講座では、日常生活の中で遭遇する健康被害因子と、予防のためのリスク・コミュニケーションの手法を学ぶ。取り扱う健康被害因子は、コレラ菌、ペスト菌、レジオネラ菌、インフルエンザウイルス、ノロウイルス、性感染症病原体、マラリア原虫、ツツガムシ病原体などの微生物因子と、フグと毒キノコ、花粉症、食物アレルギーなどの自然界要因である。講義では1つずつ健康被害をとりあげ、文化史的背景を踏まえて、危険回避の手段と誤解の修正点、危険回避の情報伝達法はどうあるべきか、について研究する。

16. 法学

担当教員 堀江薫

さまざまな人間が、ほかの人々と助け合いながら、よりよい社会を作り、同時により快適安全で幸せな生活をおくれるようにするためには、一定のきまりごとないしルールが必要となります。法は、そのきまりごとの一部です。しかし、実際には、法律の数は非常に多く、このこと自体が、現実の世の中にいろいろな考え方があり、種々の問題が存在するという示しています。この講義では、法とは何か、どのような法律があつてどのように解釈・適用されているかなどの課題について、できるだけ身近な問題に即して学び、法的な論理的思考力・判断能力の養成を目指します。

テキスト 加藤一郎ほか編『現代法学入門 [第4版]』有斐閣2005年(1200円+税)。

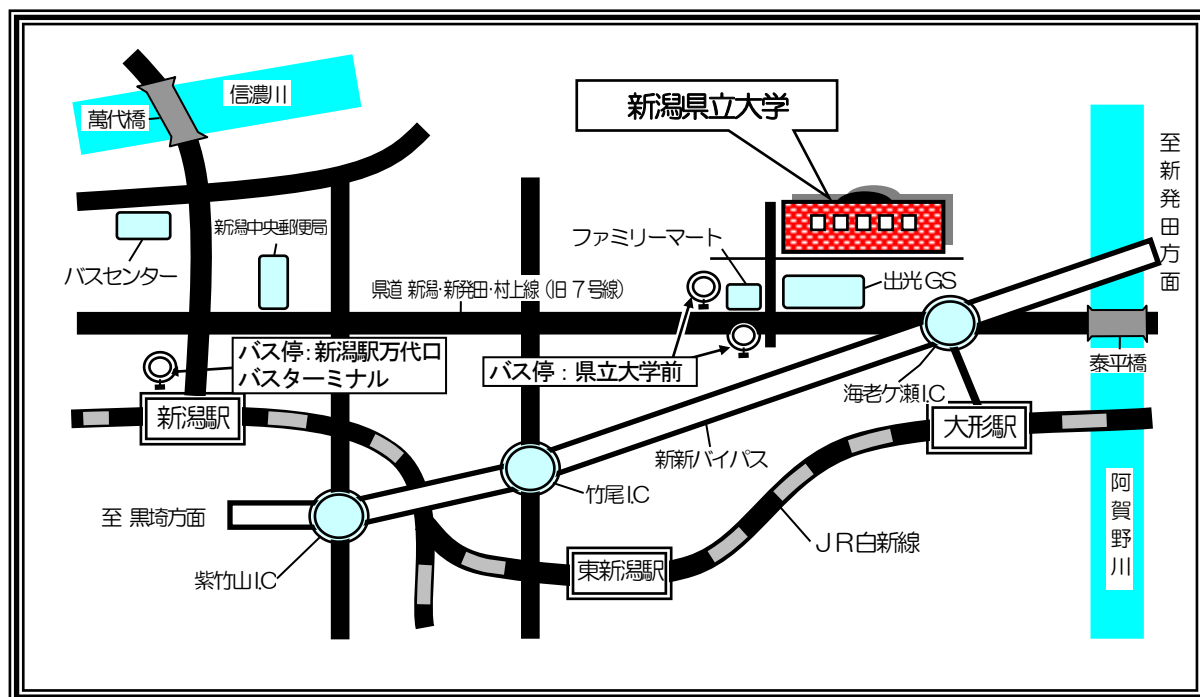
評価方法 適宜行う出席確認やレポート等を含む平常点などを参考して、総合的に評価します。

17. 現代中国の社会と文学

担当教員 後藤岩奈

抗日戦争後期から新中国成立、文化大革命、改革開放、そして現在に至るまでの文学史の流れを追い、それぞれの時代の代表的な作家とその作品を紹介し、その分析を通して、それぞれの時代はどのような政治状況、社会状況であったのか、その中で人々は、どのような生活をし、何を考え、どのように生きていたのか、について考えてみたい。主なテーマは毛沢東「文芸講話」、建国後の文学状況、文芸批判運動、「百花齊放、百家争鳴」、新时期文学、『河傷』と天安門事件、90年代の文学状況、2000年代の文学状況

【 アクセス 】



- 経路1 新潟駅万代口バスターミナル11番のりばから「大形線」に乗車（所要時間約25分/片道330円）
「県立大学前」バス停下車、徒歩2分
※「津島屋」行きのみ「県立大学前」に停車しませんので、ご注意ください。
- 経路2 白新線 JR大形駅下車（所要時間約12分/片道200円）、徒歩約15分。



新潟県立大学

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地

TEL (025) 270-1302 (教務学生課直通)

FAX (025) 270-5173

URL <http://www.unii.ac.jp/>

令和元年度特別受講生（後期）受講申込書

令和 年 月 日

新潟県立大学長 様

令和元年度の特別受講生として、貴学の科目を受講したいので下記のとおり申し込みます。

記

ふりがな		生 年 月 日	年 齢	性 別
氏 名		昭・平 年 月 日	歳 平成31年.4.1現在	男・女
住 所	〒 電話 — — 緊急連絡先 — — メールアドレス @			
職 業	【必ず記入してください。（○印を付ける。）】 1. 会社員 2. 公務員 3. 教職員 4. 主婦 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）			
	勤務先 電話 — —			
希望科目	科目 NO.	科目名	担当教員氏名	
希望理由	【希望の動機、関心のある事項等を具体的に記入してください。】			
いきいき県民カレッジ 単位認定	1. いきいき県民カレッジの単位認定を希望する人は「1. 希望する」に○印をつけてください。受講修了時に単位認定シールを送付します。 (1. 希望する 2. 希望しない) 2. 単位認定シールは、「いきいき県民カレッジ受講手帳」に貼付します。単位認定を希望する人で手帳が必要な人は1、すでに手帳をお持ちの人は2に○印を付けてください。 (1. 手帳希望【1冊目(50～200単位)、2冊目(300～500単位)】 2. 手帳所持)			
既往症	※既往症のある方はご記入願います。			

※1科目につき1枚提出してください。複数科目の受講を希望する場合は、コピーして使用してください。